

< 地理歴史・公民 >科 学習シラバス

科 目	公共	学年・類型	2年生・I型	単位数	3単位	教科書	高等学校 公共 これからの社会について考える (数研出版)	
学習の到達目標		1 現代の諸課題を考察し、選択・判断に必要な概念や理論を理解するとともに、情報を調べとめる技能を身に付ける。 2 現実社会の諸課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察し公正に判断したり、構想したことを議論する力を養う。 3 課題を主体的に解決しようとする態度を養い、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚などを深める。						
評価の 観 点	A 知識・技能		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度			
評価の 内 容	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめている。		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。		国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
評価の 方 法	・課題やノートの記述内容 ・単元小テスト ・定期考査		・課題やノートの記述内容 ・ワークシートの記述内容 ・定期考査		・課題やノートに対する取組方 ・ワークシートに対する取組方 ・教師による行動観察			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点 A B C		
1 学 期	4	巻頭特集 公共的な空間を作る私たち 1 大人ってどんな人？ 2 お互いを理解し尊重するために 3 誰もが生きやすい社会へ	・青年期の特徴や自己形成の課題について理解する。 ・先哲の思想や伝統、文化、宗教などから自分自身の生き方を検証する。 ・自分たちの社会が、多様な人々から成り立っていることを理解する。			○ ○	○ ○	○ ○
	5	第1章 公共的な空間における 人間としてのあり方生き方 第1節 西洋近代化の思想	・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容を理解する。			○	○	
	6	第2節 現代の諸課題と倫理	・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。				○	○
	7	第2章 公共的な空間における 基本原理 第1節 民主社会の基本原理	・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。			○	○	
	7	第2節 日本社会の基本原理	・日本国憲法の基本原理や保障されている権利を理解し、その基礎にある考え方を基に、公共的な空間における基本的原理との関連を考察する。			○	○	
2 学 期	8・9	第3章 ルールをつくり守る私たち 第1節 法と契約	・日常の買い物や銀行のクレジットカードなど、身近な契約の例を挙げながら、法や規範の意義や役割を理解する。			○		○
	10	第2節 司法参加の意義	・公正な裁判の基礎である司法権の独立や、裁判員制度などの国民の参加が大切であることを理解し、裁判によって国民のどのような権利が守られているのかを考察する。			○	○	
	11	第4章 政治に参加する私たち 第1節 政治参加と 民主政治の課題	・地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解し、選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察する。			○		○
	12	第2節 国際政治の動向	・国際法の意義や、国際連盟・国際連合など国際紛争を解決する機関の組織と役割と、冷戦の成立や終結後の国際政治の流れを理解する。			○	○	
	12	第3節 国際政治の課題と日本の役割	・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割、核軍拡から核軍縮への流れ、現代の世界の紛争や人権問題について理解する。			○	○	
3 学 期	1	第5章 経済活動を行う私たち 第1節 経済のしくみと 産業の変化	・現代の企業や農業の果たしている役割と現状、産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働問題について理解する。			○	○	
	2	第2節 市場経済のしくみと金融	・市場経済のメカニズム、金融の仕組み、各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解く。			○	○	
	2	第3節 財政と社会保障	・財政の仕組みや社会保障について理解し、自身の老後生活を予想して租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランスを考察する。			○	○	
	3	第4節 国際経済の動向と課題	・貿易や外国為替相場の仕組み、戦後の国際経済の流れ、発展途上国の現状としての貧困や飢餓などの原因や課題を理解する。			○	○	
	3	課題探究編 課題探究の観点 課題探究の手引き	・現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想する。 ・現代社会の諸問題について、資料を収集・選択し、分析する。			○ ○	○ ○	○ ○
学習のポイント		・自分の意見や考えを具体的に表現し、積極的に発言できるようにすること。 ・日々のニュース・新聞をよく見て、社会事象全般に対する興味・関心を高めておくこと。 ・学習したことを生かして、よりよい社会の実現のために主体的に行動できるようにしておくこと。						